

2026年度 現代経営学応用研究(グローバル戦略)

担当：ポストン・コンサルティング・グループ
マネージング・ディレクター&シニア・パートナー 植田 和則
マネージング・ディレクター&パートナー 北川 寛樹
マネージング・ディレクター&パートナー 千田 秀典

1. テーマと目標

“変化の激しい時代におけるグローバル戦略構築・実践での課題解決”

- ・ 世界の不確実性が高まる中で、先の時代を見据え、グローバル企業としてどのように戦っていけばよいのか？
- ・ 企業として、こういった大変革の時代だからこそ、何をすべきか？
- ・ 実戦の場で直面する課題は何か？それにどう対処すべきか？

これらの論点を、戦略思考とコンサルティング経験に基づき議論しながら、掘り下げていきたい

2日間の講義を通じて、戦略構築のための視座と実戦スキルを磨いていく

授業の概要と計画 (担当講師)

- 第1日目： 5月23日(土) 3-6時限 対面授業
(講義内容)

第1回 - シナリオプランニングによる不確実な未来への備え

第2回 - AIによる企業の抜本的改革

第3回 - 新しい時代の組織と人材マネジメント・グローバルガバナンスの深耕

第4回 - プライシングによるゲームチェンジ

第2日目： 5月30日(土) 3-6時限 対面授業

(講義内容)

第5回 - グローバルにおける資本市場との向き合い方

第6回 - 不安定な時代のグローバルサプライチェーン

(クラス討議)

第7回 - 新ビジネスプラン・コンテストⅠ

第8回 - 新ビジネスプラン・コンテストⅡ

(1) 講義

実際のコンサルティングの経験・事例からの示唆・学びを中心に基本コンセプトを解説する。

(2) クラス討議 (ケースディスカッション等)

受講者は、あらかじめ提示された課題に対して、授業当日までに準備を行う。当日は、講義の内容も踏まえながら、各論点に対してクラス全体でディスカッションを行い、経営者としての意思決定プロセスを疑似体験する。なお、受講者の積極的参加を前提とした討議形式のため、議論への活発な参加と貢献が期待される。

2. 成績評価と基準

- 議論への貢献 50%
 - 実践性を重視する講座として議論への貢献として発言回数を評価する
- 事前課題の提出 30%
 - 中長期を見据えた視点での問題意識、論理展開になっているかどうかを評価
- 到達度確認 20%
 - 授各回授業での発言の質：授業の中で発言を持って講義内容のポイントを理解しているかどうかを評価する
- 欠席および課題未提出は、特別な理由がない限り減点の対象とする

3. 履修上の注意

【準備学習・復習】

クラス出席前に指定された事前学習課題を準備した上でクラスに臨んで頂きたい。

また、講師／参加者双方のワークショップ式講義を行うため、議論への活発な参加と貢献が期待される。

【関連科目】

事前に履修が必要な科目は特に無い。

【資料の配布】

教室で対面参加の方向けには、資料は当日印刷して配布する。リモート参加の方向けには資料は投影のみさせていただく。

なお、一部授業の資料については終了後に回収させて頂く可能性があることをご了承いただきたい。

4. 事前課題

事前課題は講義日の2週間前までに連絡します。

講義日までに準備し、当日、印刷の上、課題を提出して下さい。

5. オフィスアワー・連絡先

電子メールにて質問・相談は随時受け付ける。

(秘書室 久末くるみ宛)

hisasue.kurumi@bcg.com